

あけましておめでとうございます

～新しい年を迎えました。幸せな暮らしは平和な社会があってこそ。

子どもたちの未来のために平和な社会を共に築いていきましょう～

12月26日（木）に、年の暮れの「餅つき」を行いました。子どもたちはつきたてのお餅をお腹いっぱい食べました。また、年神様を迎えるにあたり、ののかぜ保育園の子どもたちをはじめみんなに幸せが訪れるようにと鏡餅を作り、玄関に飾りました。

お正月は家族でたくさんお餅を食べて、みんなで集い、子どもたちの成長を確かめあったことと思います。

子どもたちが健やかに大きくなりますように！大人たちも健康で過ごせますように！今年も、父母と職員で力を合わせながら子どもたちの育ちを支えて行きましょう。本年もどうぞよろしく願いいたします。



昨年12月、「ベシャワール会」代表の中村哲医師が、アフガンの武装集団の凶弾に倒れるという、非常に悲しく残念な出来事が起こりました。中村医師は、難民救済に関わることをきっかけに、度重なる内戦やテロなどで貧困に陥ったアフガニスタンに赴き、「貧困を無くせば、争いやテロも無くなり、人々が幸せに暮らせるようになる」という信念を持ち、白衣を脱ぎ、メスを重機のレバーに持ち替え、自ら重機を扱い、不毛となった土地に井戸を掘り、用水路を引いて来ました。そして、不毛だった土地は緑豊かな農地となって十数万の人々に恵みをもたらして来ました。

また、中村医師は憲法九条の大切さを訴え続け、九条の理念のもと、「どんなに武力で対立する相手をやっつけたとしても本当の平和は訪れることはなく、恨みを残すだけで、復讐の連鎖は際限なく続く」と、軍事力によらない平和的手段での問題解決の糸口を探ることを大切にしてきました。

「私たちが持たなくてもよいものは何か、そして人として最後まで失ってはならぬものは何か」と世間に問いかけ、治安が悪化しても人々を見捨てることがなかった中村医師の生き方を忘れてならないと思っています。



一方で、嬉しかったことは、スウェーデンの環境活動グreta・トゥンベリさんの活躍です。気候変動が起こり、異常気象のもと各地で災害が発生しています。日本でも昨年は千葉県や九州、福島などで、暴風や大雨を伴う台風等で甚大な被害が出ました。グretaさんは、自分たちの将来、地球の将来を見据え、地球環境を守るために各国に、温室効果ガスの削減を求め「権力者たちは、未来と現代の世代を守らなければならない」と訴えて来ました。

16歳ですごいなと思うと同時に、こうした若者たちの活躍に期待し、応援していきたいと思っています。



2020年1月 園だより

園長 小西 只剛